

日本語処理における頑健な文節区切り手法とその応用

著者	鈴木 恵美子
著者別名	Suzuki Emiko
内容記述	筑波大学博士（工学）学位論文・平成11年7月23日授与（乙第1552号）
発行年	1999
URL	http://hdl.handle.net/2241/6285

参考文献

- [1] 荒川啓介, 板山和彦, ”JICST の実用的自動漢字-カナ変換システム K - KACS について”, 情報処理, Vol.20, No.10, pp.917-923, 1979.
- [2] 石井, ”計算機による日本語の用語・固有名詞の校正”, ICOT Technical Report, TR-124, 1985.
- [3] 石井ほか, ”日本語の漢字・用字の校正のための知識”, ICOT Technical Report, TR-0092, 1985.
- [4] 石綿敏雄, 斉藤秀紀, 木村繁, ”言語単位分割自動化の研究”, 計量国語学, No.10, pp.24-38, 1969.
- [5] 上窪真一, 河野泉, 吉坂主旬, ”擬人化キャラクタを用いた対話システム”, 情報処理学会第 55 回全国大会”, 3W-1, 1997.
- [6] 牛島和夫, 他, ”日本語文書推敲支援ツールのプロトタイプング”, ソフトウェア工学, 40-8, pp.43-48, 1985.
- [7] 梅田茂樹, 諸橋正幸, 細野, 後藤, 綾部, 原田, ”漢字カタカナ列の頻度情報に基づいた日本語文献の自動分類”, 情報処理学会第 32 回全国大会”, 4T-10, 1986.
- [8] 梅田茂樹, ”漢字の出現頻度特性を用いた日本語文献の機械処理”, 情報管理, Vol.29, No.5, 1986.
- [9] 梅田茂樹, 諸橋正幸, 細野, 原田, 後藤, ”漢字クラスターによる日本語文献の重要語抽出”, 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 58-5, 1986.
- [10] 江川清, ”漢字かな混じり文の「自動分割」に関する一研究”, 計量国語学, No.44/45, pp.46-52, 1968.
- [11] 江川清, ”単位分割自動化のシステムについて”, 計量国語学, No.51, pp.17-22, 1969.

- [12] 大河内正明, "仮名漢字変換のための形態素接続規則", 東京サイエンティフィックセンター・レポート, N:G318-1560-1, 19281, 1981.
- [13] 奥村薫, 脇田由紀子, 金子宏, "日本語校正支援システム Flecs の新聞社における実用化", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 91-5, 1992.
- [14] 小野智司, 西森雄一, 平岡大樹, 鈴木恵美子, 狩野 均, 西原清一, "知識ベースに基づく対話型点字翻訳システム", 情報処理学会第 54 回全国大会, 4B-9, 1997.
- [15] 賀来直子, "日本語のアスペクト", 情報処理学会第 31 回全国大会, 5J-6, 1984.
- [16] 角田, "多層テキスト構造を持つ日本語エディタ", 第 27 回プログラミングシンポジウム論文集, pp.75-84, 1986.
- [17] 嘉手川繁三, 脇田修躬, "日本語点訳システム-漢字かな混り文から点字まで-" 情報処理学会第 27 回全国大会, 6H-8, 1983.
- [18] 河原正治, "日本語自動点訳ソフトウェアの開発について", ヒューマンコミュニケーション研究会, HC94-49, 電子情報通信学会, 88-1, 1992.
- [19] 北, 小松, 安原, "要約支援システム COGITO", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 58-7, 1986.
- [20] 木谷強"固有名詞の特定機能を有する形態素解析処理", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 90-10, 1992.
- [21] 絹川博之, "高品質日本語文章作成支援機能の一考察" 情報処理学会第 31 回全国大会, 4H-6, 1984.
- [22] 絹川博之, 小暮陸子, "日本語構文解析による自動インデクシング方式" 情報処理学会論文誌, Vol.21, No.3, pp.200-207, 1980.
- [23] 小暮潔, 匂坂芳典, 嗟峨山茂樹, 佐藤大和, "日本語テキスト音声変換における言語処理", 電子情報通信学会全国大会, pp.S9-5, 1983.
- [24] 空閑, "文書作成・校正支援システム WISE", 電子情報通信学会技術報告, OS 86-28, pp.13-18, 1986.
- [25] 坂本義行, "文節単位の自動分割法 - 字種とひらがな連糸による", 計量国語学, Vol.11, No.6, pp.265-276, 1978.

- [26] 坂本義行, "文節の認定", 日本語情報処理シンポジウム論文集, 1978.
- [27] 坂本義行, "日本語形態素解析の基本設計", 自然言語処理研究会, 38-3, 情報処理学会, 1983.
- [28] 颯々野学, 斉藤由香, 松井くにお, "アプリケーションのための日本語形態素解析システム", 言語処理学会第3回年次大会発表論文集, pp.441-444, 1997.
- [29] 佐藤大和, 匂坂芳典, 小暮潔, 嗟峨山茂樹, "日本語テキストからの音声合成", 通研実報, Vol.32, No.11, 1983.
- [30] 末田, 金森亨, "動的計画法を用いた文字列と辞書項目の照合方式", 電子情報通信学会総合全国大会, pp.S9-3, 1983.
- [31] 杉村, 赤坂, 久保, "論理型形態素解析 LAX", Proc. of Logic Programming Conference, 1988.
- [32] 鈴木恵美子, "漢字かな混じり文に現れるひらがな列の文節推定方法について", 情報処理学会第31回全国大会, 4H-3, 1985.
- [33] 鈴木恵美子, "文字列パターンを用いた日本語文文節区切り手法", 電子情報通信学会論文誌, D-III, pp., 1997.
- [34] 鈴木恵美子, 武田浩一, 藤崎哲之助, "構造化文書上における校正・推こう手法の検討", 情報処理学会第33回全国大会, 4J-5, 1986.
- [35] 鈴木恵美子, 武田浩一, 藤崎哲之助, "日本語文書校正支援システム CRITAC", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 8-5, 1986.
- [36] 鈴木恵美子, 武田浩一, "日本語文書校正支援システムの設計と評価", 情報処理学会論文誌, Vol.25, No.6, 1984.
- [37] 鈴木恵美子, 小野智司, 平岡大樹, 狩野均, 西原清一, "知識ベースに基づく点字翻訳のための日本語文節区切り手法", 言語理解とコミュニケーション研究会, NLC97-28, 電子情報通信学会, 1997.
- [38] 鈴木恵美子, 小野智司, 平岡大樹, 狩野均, "点字翻訳ボランティアのための対話型分かち書き支援システム", <http://www.csl.sony.co.jp/person/nagao/nlsym97>, 自然言語処理シンポジウム「実用的な自然言語処理に向けて」, 1997.
- [39] 鈴木和洋, 浅川智恵子, "日本語点字翻訳のための漢字仮名変換", 情報処理学会第47回全国大会, 1W-2, 1993.

- [40] 隅田英一郎, 丸山直子, "拡張 CFG を用いた日本語構文解析", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 63-3, 1987.
- [41] 関根聡, 菅野祐司, 長尾健司, "形態素解析システムにおける新聞記事の調査とシステムの評価", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 77-1, 1990.
- [42] 田中康仁, 西川仙之, 吉田将, "語と語の関係について - 知識データの自動カテゴリー化について -", 情報処理学会第 29 回全国大会, 6N-5, 1984.
- [43] 武田浩一, 鈴木恵美子, 西野哲朗, 藤崎哲之助, 丸山宏, "日本語文書校正支援システム CRITAC", 情報処理学会第 32 回全国大会, 4T-12, 1986.
- [44] 武田浩一, 鈴木恵美子, 西野哲朗, 藤崎哲之助, "日本語文書校正支援システム CRITAC の校正知識", 情報処理学会第 32 回全国大会, 4T-13, 1986.
- [45] 武田浩一, 鈴木恵美子, 藤崎哲之助, "日本語文書校正支援システム CRITAC のテキスト・コンパイラ", 情報処理学会第 33 回全国大会, 4J-6, 1986.
- [46] 武田浩一, 藤崎哲之助, "統計的手法を用いた漢字複合語の短単位分割", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 48-2, 1985.
- [47] 建石由佳, 小野, 山田尚勇, "Diction と Style の日本語化について", 情報処理学会第 31 回全国大会, 4H-2, 1985.
- [48] 田中穂積, 佐藤泰介, 元吉文男, "自然言語処理のためのプログラミングシステム - 拡張 LINGOL について -", 電子通信学会論文誌, Vol.J.60-D, No.12, pp.1061-1068, 1977.
- [49] 堤豊, 堤泰治郎, "自然言語解析装置", 特許出願公開, 昭 63-91776.
- [50] 鶴丸弘昭, 日高達, 吉田将, "単語の釈義文を利用した単語間の階層関係の抽出について", 自然言語処理研究会, 情報処理学会, 45-4, 1984.
- [51] 長尾真, 辻井潤一, 山上明, 建部周二, "国語辞書の記憶と日本語文の自動分割", 情報処理学会, Vol.19, No.6, 1978.
- [52] 長尾真, "日本語情報処理", 電子通信学会編, 1984.
- [53] 中村, 今永, 吉田"接続コスト最小法による日本語形態素解析の評価実験", 電子情報通信学会技術報告, NLC 91-1, 1991.

- [54] 沼尾雅之, "PROEDIT - A Screen Oriented Prolog Programing Environment システムの構成と実現", 情報処理学会第 31 回全国大会, -, 1985.
- [55] 沼尾雅之, "Prolog の視覚的デバッガ", 記号処理研究会, 情報処理学会, 32-1, 1985.
- [56] 畑田稔, 野里真喜子, 遠藤裕英, "OCR 文書の認識あやまり修正支援システムの開発", 情報処理学会第 55 回全国大会", 6J-8, 1997.
- [57] 日高達, 吉田将, "効率的日本語単語機械辞書", 情報処理学会第 24 回全国大会, 5G-7, 1982.
- [58] 平岡大樹, 水野一徳, 小野智司, 鈴木恵美子, 狩野均, 西原清一, "知識ベースに基づく点字翻訳のための日本語文書分かち書き手法", 情報処理学会第 54 回全国大会, 4B-10, 1997.
- [59] 広明敏彦, 國枝和雄, 中邑哲郎, 青木敏郎, 前田雅人, 宮井均, "臨場感図書館の遠隔利用実験とユーザインタフェース評価", 情報処理学会第 55 回全国大会", 3W-6, 1997.
- [60] 広瀬啓吉, "音声合成の研究の現状と将来", 音響学会誌, Vol.48, No.1, pp.39-45, 1992.
- [61] 春野雅彦, 松本裕治, "文脈木を利用した形態素解析", 自然言語処理研究会, NL-112-5, 情報処理学会, 1996.
- [62] 久光、新田"日本語形態素解析における効率的な動詞活用処理", 情報処理学会第 48 回全国大会, 1994.
- [63] 広瀬啓吉, "音声合成の研究の現状と将来", 音響学会誌, Vol.48, No.1, pp.39-45, 1992.
- [64] 福島俊一, 大山裕, 大竹暁子, 首藤友喜, 首藤正道, "盲人用読書器における文音声変換のための文章解析", 日本語文書処理研究会, 2-4, 情報処理学会, 1985.
- [65] 福島俊一, 大竹暁子, 大山裕, 首藤正道, "日本語文書作成支援システム COMET", 電子情報通信学会技術報告, OS 86-21, pp.15-22, 1986.
- [66] 藤崎哲之助, 大河内正明, 諸橋正幸, 戸沢義夫, "日本語文書処理システム「ことだま」 - 概念と設計思想 -", 東京サイエンティフィックセンター・レポート, N:G318-1512, 1980.
- [67] 藤崎哲之助, "動的計画法による漢字仮名混じり文の単位切りと仮名ふり", 自然言語処理研究会, 28-5, 情報処理学会, 1981.
- [68] 藤崎哲之助, 大河内正明, 諸橋正幸, "「ことだま」文書処理システムの文節わかち書き仮名漢字変換", 情報処理学会論文誌, Vo.23, No.1, 1982.
- [69] 藤崎哲之助, "確率的手法を用いた自然言語処理", 東京大学博士論文, 1985.

- [70] 藤崎哲之助, 諸橋正幸, "「ことだま」の文書処理", bit 4月号別冊「ワープロと日本語処理」, 共立出版, pp.96-107, 1985.
- [71] 増田進二, 納富一宏, 加藤達矢, 大野聡, 内山明彦, "漢字文字列に対する読み仮名づけの自動化", 情報処理学会第47回全国大会, 1W-4, 1993.
- [72] 松本裕治, 黒橋禎夫, 宇津呂武仁, 妙木裕, 長尾真, "日本語形態素解析システム JUMAN 使用説明書 Version 2.0", NAIST Technical Report, NAIST-IS-TR94025, 1994.
- [73] 松本裕治, 北内啓, 山下達雄, 今一修, 今村友明, "日本語形態素解析システム「茶筌」Version 1.0 使用説明書 NAIST Technical Report, NAIST-IS-TR97007, 1997.
- [74] 丸山直子, "日本語文法 - 水谷文法と結合価文法を基盤にして -", 情報処理学会第33回全国大会, 3K-10, 1986.
- [75] 宮崎正弘, "係り受け解析を用いた複合語の自動分割法", 情報処理学会論文誌, Vol.25, No.6, 1884.
- [76] 宮崎正弘, 大山裕, "日本語音声出力システムの辞書構成", 研究実用化報告, Vo.35, No.2, pp.157-167, 1986.
- [77] 村木一至, "機械翻訳用辞書構成", 自然言語処理研究会, 46-1, 情報処理学会, 1984.
- [78] 安田, 島崎, 高木, 池原, "日本文訂正支援システム REVISE", 情報処理学会第33回全国大会, 4J-9, 1986.
- [79] 吉村賢治, 日高達, 吉田将, "未登録語を含む漢字かな混り文の形態素解析", 情報処理学会第25回全国大会, 3K-1, 1982.
- [80] 吉村賢治, 日高達, 吉田将, "文節数最小法を用いた日本語文の形態素解析", 情報処理学会論文誌, Vol.24, No.1, 1983.
- [81] 吉村賢治, 日高達, 吉田将, "漢字仮名混り文の形態素解析とその実験", 情報処理学会第28回全国大会, 3M-6, 1984.
- [82] 吉村賢治, 武内, 津田, 首藤, "未登録語を含む日本語文の形態素解析", 情報処理学会論文誌, Vol.30, No.3, 1989.
- [83] Codd, E.F., "A Relational Model of Data for Large Shared Data banks", CACM, Vol.13, no.6, pp.377-387, 1970.

- [84] Cherry, L.L., "Writing Tools", IEEE Trans. on Communication, Vol.Com-30, No.1, pp.100-105, 1982.
- [85] Heidorn, G.E., Jensen, K., Miller, L.A., Byrd, R.J., Chodorow, M.S., "The Epistle text-critiquing system", IBM Systems Journal, Vol.21, No.3, 1982.
- [86] IBM Corp., "日本語ワードプロセッサ操作ガイド", N-SX18-2085, 1985.
- [87] IBM Corp., "SQL/Data System Concepts and Facilities", GH24-5013, 1983.
- [88] Ishiwata, T., et al., "Basic Specifications of the Machine-Readable Dictionary", ICOT Technical Report, TR-100, 1985.
- [89] Maruyama, N., Morohashi, M., Umeda, S., and Sumita, E., "A Japanese sentence Analyzer", IBM Journal of Research and Development, Vol.32, No.2, pp.238-250, 1988.
- [90] Salton, G., et al., "A Theory of Term Importance in Automatic Text Analysis", Journal of ASIS, Vol.25, No.1, pp.33-44, 1975.
- [91] Suzuki, E., and Sumita, E., "Disambiguation in Japanese Syntactic Analysis", Proceeding of the 2nd International Conference on Japanese Information in Science, Technology and Commerce, Vol.1, pp.509-523, 1989.
- [92] Takeda, K., Suzuki, E., Nishino, T., and Fujisaki, T., "CRITAC - An Experimental system for Japanese text proofreading", IBM Journal of Research and Development, Vol.32, No.2, pp.201-216, 1988.
- [93] Takeda, K., Fujisaki, T., and Suzuki, E., "A Japanese Text Proofreading System - CRITAC", Proceeding of the 11th International Conference on Computational Linguistics, pp.412-417, 1986.
- [94] Takeda, K., Suzuki, E., and Fujisaki, T., "A user Interface of a Text Proofreading System", Proceeding of IEEE symposium on Office Automation, pp.15-24, 1987.
- [95] Suzuki, E., Ono, S., Hiraoka, T., and Kanoh H., "Interactive Japanese Sentence Segmentation System for Translating Japanese into Braille", Proceeding of the Natural Language Pacific Rim Symposium 1997, pp.621-624, 1997.